

「第4次富士山おむすび計画（案）～富士市食育推進計画～」の
パブリック・コメントに対する意見及び回答（市民からの意見）

反映結果の項目は、「1 反映する」、「2 既に盛り込み済み」、「3 今後の参考にするもの」、「4 反映できないもの」、「5 その他（案件とは無関係な意見等）」の5区分

No.	意見の内容	市の考え方	反映結果
1	<p>食育はとても大切で必要だと思います。その中で日本に住む私達が食べているものの実態を正確に知ることが前提になり、そこからどのような食育が必要になるか、という流れになっているのかが疑問です。</p> <p>日本は自給率がとても低いことは周知されています。大部分を海外から輸入している中で、衛生面を担保するために農薬が大量に使用されていること。日本が海外では広く使用禁止になっている農薬や食用添加物を使ったり表示義務もあいまいになっていること。</p> <p>昔の日本人が大切にしてきた日本食、一日三食の習慣になったのは昔からではなく最近であること、粗食で小柄だった日本人が今のような生活習慣病、心の病、発達障害等、今よりもほとんどなかったようなものであること。</p> <p>海外ではポテチやインスタントラーメンには毒マークが貼ってあり、子どもでも分かるように、危険なものが避けられるような取り組みがあります。それが本当の食育になるのではないのでしょうか。子供のうちから、食べたもので自分の体が作られていて、世の中には危険なものもあるから、自分を守っていける知識と、意識感覚を育ててあげることをして頂きたいです。</p> <p>そのように考えると、農業はとても尊い職業で、世の中は会社で稼いできらびやかなイメージが良いとされ、一次産業はどちらかというと地味で大変だというイメージが持たれていると思います。農業は日本の食を守っていて、更には国防にも繋がる大変素晴らしいものです。自分たちで家庭菜園を出来るところからやってみる等、個人でできることを教えてくれたり、サポートして頂きたい、と市に対して希望します。</p>	<p>「食育」については、食育基本法において、『様々な経験を通じ、「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てること』と定義されています。</p> <p>本計画においても、このことを踏まえ、食の安全や食と健康に関する正しい知識の普及、食文化の伝承、農業体験を含む食育体験活動の推進等、食への理解を深める施策を基本施策として位置付けております。</p> <p>計画の推進に当たっては、基本施策に基づき、いただいたご意見を参考に、食育を推進してまいります。</p>	3 今後の参考にするもの

No.	意見の内容	市の考え方	反映結果
2	<ul style="list-style-type: none"> ・そもそも何が伝統食で何が伝統行事なのか分からない以上、議論のしようがないのでは？ ・ずっと富士は工業でやってきて、食は富士宮の方でとなっていたので、何が伝統食であり行事か分からなくなっている。 ・自分もピーナッツの粗びきをまぶした「なます」が富士の伝統食だと最近になって分かったぐらいで（食に関する仕事を始めたので）他のあまり興味がない人は余計分からないのではないか？ 	<p>本計画において、郷土料理・行事食については、基本施策の1つである「食文化の伝承」に位置付けております。</p> <p>郷土料理につきましては、「落花生なます」や「甘い味付けがんも」「おけんちゃん」等、富士市を含む地域における固有の料理を想定しており、国や市のウェブサイト等で紹介されている他、学校給食の献立に取り入れ、小中学生及び保護者に周知を図っております。</p> <p>また、本計画書において、富士市を含む地域の郷土料理・ご当地グルメについて、コラムとして掲載いたします。</p>	2 既に盛り込み済み